



校長室より



令和6年6月7日

No.7

自分らしく生きる 豊かに生きる

地域とのつながりを大切にしていきましょう！



5月31日に生徒会役員のメンバーとランチミーティングを行い、みはま支援学校をどんな学校にしたいかという話し合いを行いました。もっと入院生との交流を進めたい、よい取組を後輩に引き継いでいきたい、美浜町の地域に出て清掃活動やこども園との交流、野外活動もしてみたいといった積極的な意見をたくさんいただきました。美浜町の花でもある“ひまわり”を役場でいただいて、学校で育てるというプロジェクトも進めてくれています。

子どもたちが学校のために動き始めたとき、みはま支援学校の応援団的存在である学校運営協議会（コミュニティスクール）の第1回の協議会が、6月7日（金）に行われました。授業見学後、学校運営方針を承認していただき、昨年の成果の一つでもある美浜町中央公民館と協働で取り組んでいる活動を公民館職員でもある委員より報告いただきました。

今年はさらに一歩進めて学校運営協議会の発信で学校運営に参画していただきたいと委員の皆さんにお願いしました。それを具体化するために、二つのグループに分かれて協議を行いました。一つ目のキャリア教育グループでは、PTA活動とコラボして、PTA研修を活性化していくための意見を出し合いました。保護者が何を知りたいのかという視点でたくさんのアイデアを出していただきました。もう一つの地域連携グループからは、地域（美浜町）の資源（農業、漁業、文化、芸能など）をピックアップしながら、交流、地域貢献、話を聞く機会などをとおして、「子どもたちが自分の生き方を考える機会につながっていったらいいね」という話が出ました。学校、家庭、地域が協働して、特色ある学校づくりを推進していきたいと思います。

